

- ▶ 綾川町では、人口林のヒノキについて、保育期にある森林が大半を占めており、森林経営計画を通じた除伐・間伐の指導を中心に松くい虫の被害を受けた跡地をヒノキ等への転換を図り、必要に応じた育成天然林を推進するなど山地災害防止にも配慮した森林施業を実施する必要がある。
- ▶ 令和6年度においては、3つの林道のうち、草刈り・側溝及び路面清掃を行った。
- ▶ 令和7年度においても、森林整備事業の要となる林道の適正な維持管理を進めて行くこととしている。

## □ 事業内容

### 1 林道維持管理業務

- ・ 林道のうち、維持管理が必要とされる箇所を整備を実施。令和5年度は信常線・東山線・宮ノ奥線・塩江琴南線で草刈り・側溝及び路面清掃・施工延長を行った。

【事業費】○信常線1,210千円

○宮ノ奥線646千円 ○塩江琴南線2,200千円

【実績】○信常線 草刈り7000㎡ 側溝清掃3500m

路面清掃3500m

○宮ノ奥線 側溝清掃250m

○塩江琴南線 側溝清掃6400m



側溝清掃着工前  
(宮ノ奥線)



側溝清掃竣工  
(宮ノ奥線)

## □ 事業スキーム

- 1 側溝清掃等の委託（令和6年度林道維持管理業務）



## □ 工夫・留意した点

- ・ 災害防止等や水源地の保全の観点から推進される森林整備事業において、林道は整備の要となり、その中でも、町有林・国有林・保安林を有する重要な路線の一つにおいて、森林環境譲与税を財源として優先的に施業を行った。
- ・ 令和6年度の林道維持管理業務では、草刈りや側溝清掃など、維持管理に必要な整備を実施した。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額	8,026千円
②私有林人工林面積（※1）	804.4ha
③林野率（※2）	46.7%
④人口（※3）	22,693人
⑤林業就業者数（※3）	15人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より